

畜産みやぎ

発行所

仙台市青葉区上杉一丁目2番16号

社団法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

定価 1部62円

印刷所 K K東北プリント



平成6年度宮城県総合畜産共進会 (於: 小牛田家畜市場 '94. 9. 19~21)

も く じ

平成6年度指定助成対象事業について……2
 宮城県環境保全型畜産確立対策基本方針の
 制定について(その2)……5
 第4回東日本和牛能力共進会の開催について……7
 第7回東北地区牛削蹄競技大会の結果について……8
 宮城県畜産会々長 茂木要治氏急逝……8
 充実した日常生活……8
 優良種豚選抜試験に着手……9
 家畜と抗生物質……10
 抱負……10

平成6年度指定助成対象事業について

宮城県畜産課

指定助成対象事業は、昭和36年に定められた「畜産物の価格安定等に関する法律」(畜安法)に基づき畜産振興事業団が実施する①肉用牛生産の合理化、②畜産経営の技術指導、③畜産物流通の合理化等畜産振興を図るための助成事業です。

指定助成事業の性格は、①国が直接実施する補助事業としてなじみがたい事業、②国の補助事業を補完するための事業、③畜産をめぐる諸情勢の変化に応じて緊急的に行う事業を対象として実施されています。

この事業の財源は、平成2年度までは、輸入牛肉の売買差益を主たる財源としてきましたが、平成3年度からは、牛肉等の関税収入を財源とした国からの交付金を主体に措置されています。

平成6年度の指定助成対象事業については、食肉・

酪農生産振興、合理化、経営の安定、流通の改善、消費拡大対策を重点として新規事業の創設または既存事業の拡充等を図っているところ です。特に生産・経営対策の基本的な課題として、近年技術革新の著しいバイオテクノロジー分野等の畜産への技術移転を図り、食肉・酪農生産の振興・合理化等に寄与するべく積極的に技術開発関連事業の推進を図っているところであり、各分野にわたり70を越える事業を展開しています。

助成を受けることができる団体は、全農などの農林水産大臣が定める全国連がほとんどですが、この団体の下部組織である県域団体(経済連等)を通じて畜産経営者や農協も間接的に補助を受けることができます。主な事業については、別表のとおりとなっています。

項目	事業名	事業の目的	事業内容													
(食肉関係) 生産対策	粗飼料利用率向上緊急対策事業	粗飼料の収穫・調製・貯蔵等の各段階における量的損失及び栄養分損失を低減し、粗飼料の利用率の向上を図るため、ロールベールラップサイレージ等の耐天候型粗飼料収穫調製貯蔵関連機械を導入し、肉用牛等大家畜経営の安定的発展に寄与する。	事業主体 農業公社、農業協同組合、3戸以上の集団 実施要件 (1) 酪農肉用牛生産近代化計画を策定している市町村内であること (2) 肉用牛経営を営む者が主な受益者であること (3) 受益面積がおおむね5ha以上であること 導入機械 ロールベールおよびベールラップ並びにこれらと一体的に利用する粗飼料収穫用機械 補助率 1/3以内													
	優良肉用牛資源有効活用促進事業	子牛価格が低落した場合、繁殖用雌子牛及び飼養放棄される成雌牛を農協等が買い上げ、規模拡大の意欲を有する者に貸付け等を行うことにより、肉用牛資源の維持・確保及び改良増殖の推進を図る。	繁殖雌牛保留促進対策 ① 雌子牛導入型 1頭当たりの購入助成額 県内 6万1千円(輸送費含む) 県外 6万3千円から7万2千円(導入距離に対応) ② 成雌牛導入型 1頭当たりの購入助成額 4万9千円(輸送費含む) 家畜導入主体 農協、農協連、公社等													
	子牛生産拡大奨励事業	肉専用種繁殖経営における子牛生産拡大意欲の向上を図ることにより、牛肉生産の基礎となる繁殖雌牛頭数の拡大と経営の維持強化を図る。	発動基準と奨励金単価 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品 種</th> <th rowspan="2">発 動 基 準</th> <th colspan="2">1 頭 当 たり</th> </tr> <tr> <th>拡大奨励金(増頭)</th> <th>生産奨励金(維持)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>35万円を下回った場合</td> <td>10千円</td> <td>7千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>34万円を下回った場合</td> <td>20千円</td> <td>15千円</td> </tr> </tbody> </table>	品 種	発 動 基 準	1 頭 当 たり		拡大奨励金(増頭)	生産奨励金(維持)		35万円を下回った場合	10千円	7千円		34万円を下回った場合	20千円
品 種	発 動 基 準	1 頭 当 たり														
		拡大奨励金(増頭)	生産奨励金(維持)													
	35万円を下回った場合	10千円	7千円													
	34万円を下回った場合	20千円	15千円													

正統の育ちと味



仙台牛

仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL 022(264)8449~50



株式会社 五十嵐商会

仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話(022)236-2525(代表)

項目	事業名	事業の目的	事業内容																													
(食肉関係) 生産対策			<table border="1"> <tr> <td>黒毛和種</td> <td>33万円を下回った場合 32万円を下回った場合 31万円を下回った場合</td> <td>30千円 40千円 46千円</td> <td>22千円 30千円 34千円</td> </tr> <tr> <td>褐毛和種</td> <td>32万円を下回った場合 29万円を下回った場合</td> <td>25千円 -</td> <td>- 16千円</td> </tr> <tr> <td>その他の肉専用種</td> <td>24万円を下回った場合 21.8万円を下回った場合</td> <td>19千円 -</td> <td>- 12千円</td> </tr> </table> <p>子牛価格は、肉用子牛生産者補給金制度において定められる指定市場の平均売買価格(四半期ごと)</p>	黒毛和種	33万円を下回った場合 32万円を下回った場合 31万円を下回った場合	30千円 40千円 46千円	22千円 30千円 34千円	褐毛和種	32万円を下回った場合 29万円を下回った場合	25千円 -	- 16千円	その他の肉専用種	24万円を下回った場合 21.8万円を下回った場合	19千円 -	- 12千円																	
	黒毛和種	33万円を下回った場合 32万円を下回った場合 31万円を下回った場合	30千円 40千円 46千円	22千円 30千円 34千円																												
	褐毛和種	32万円を下回った場合 29万円を下回った場合	25千円 -	- 16千円																												
	その他の肉専用種	24万円を下回った場合 21.8万円を下回った場合	19千円 -	- 12千円																												
肉用牛産地拡大推進事業	繁殖雌牛の規模拡大、肥育仕向け雌牛の繁殖利用、双子生産技術の活用、経営内一貫生産方式の導入、放牧の活用等による肉用牛生産拡大のための生産集団の取組みを強化支援することにより、肉用牛生産基盤の強化・拡大を図る。	生産集団が次のような肉用牛生産拡大のための取組みを行う場合に必要となる経費の一部を助成する。	<table border="1"> <tr> <td>取組み</td> <td>対象牛</td> <td>1頭当たり単価</td> </tr> <tr> <td>規模拡大</td> <td>繁殖雌牛</td> <td>4万円 2頭目以降 6万円</td> </tr> <tr> <td>経営内一貫</td> <td>自家生産肥育牛</td> <td>2万7千円</td> </tr> <tr> <td>一産取り肥育</td> <td>肥育雌牛</td> <td>2万円</td> </tr> </table>	取組み	対象牛	1頭当たり単価	規模拡大	繁殖雌牛	4万円 2頭目以降 6万円	経営内一貫	自家生産肥育牛	2万7千円	一産取り肥育	肥育雌牛	2万円																	
取組み	対象牛	1頭当たり単価																														
規模拡大	繁殖雌牛	4万円 2頭目以降 6万円																														
経営内一貫	自家生産肥育牛	2万7千円																														
一産取り肥育	肥育雌牛	2万円																														
低コスト生産推進特別事業	肉用牛の生産性向上と経営体質強化の強化を早急に推進するため、低コスト生産についての普及・啓蒙・指導を行うとともに各分野にわたるコスト低減技術を総合的に組み立てた低コスト生産の実証展示を行い低コスト肉用牛生産拡大・定着を図る。	低コスト肉用牛生産実証展示 施設・機械(付帯設備含む) 飼料作物作付け条件整備 研修施設等の整備	補助率 1/2																													
養豚経営体質改善推進指導事業	養豚経営の安定、豚肉の安定供給を図るため、需要の動向に即した計画的な生産を推進するとともに、集団化による一定規模の確保及びその組織的な取組みにより生産技術の改善生産コストの低減等を図るよう養豚集団を育成することにより養豚の活性化、体質の改善を早急に図り今後の養豚の安定的発展を図る。	養豚活性化集団の育成 養豚組織活動強化対策 ①養豚集団活動活性化 定額(5,000円以内/繁殖豚) ②養豚集団育成整備	補助率 1/10以内																													
(食肉関係) 経営対策	肉用牛肥育経営安定緊急対策事業	牛肉輸入自由化に伴い、牛肉枝肉価格の低下による肉用牛肥育経営の収益性の一時的な悪化が懸念され、牛肉生産全体が停滞する恐れがあることから、肥育経営を継続するのに必要な経費を軽減するために助成し、もって肥育経営の安定的な維持発展を図る。	肥育牛1頭当たりの四半期平均推定所得が、販売価格の低落等により、家族労働費を下回った場合、その後の経営を継続するのに必要となる畜産導入等の経費を軽減するための助成を行う。 肉専用種肥育牛：導入牛1頭当たり 2万円 乳用種肥育牛：導入牛1頭当たり 1万円																													
	大家畜経営活性化資金特別融資助成事業	多額の負債を継承した後継者等負債の償還が困難な酪農及び肉用牛経営について財務管理指導の徹底と相まって、既貸付金の条件緩和等の措置とあわせて長期低利資金の融通を行うことにより早期に経営の安定及び活性化を図る	貸付要件(個人の場合・頭数規模) <table border="1"> <tr> <th>経営種類</th> <th>家畜の種類</th> <th>一</th> <th>般</th> <th>特</th> <th>認</th> </tr> <tr> <td>酪</td> <td>農</td> <td>乳用成雌牛</td> <td>15頭</td> <td></td> <td>25頭</td> </tr> <tr> <td>肉</td> <td>用</td> <td>繁殖繁殖雌牛</td> <td>5</td> <td></td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>肉</td> <td>専</td> <td>肉専肥育牛</td> <td>10</td> <td></td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>乳</td> <td>用</td> <td>乳用肥育牛</td> <td>15</td> <td></td> <td>30</td> </tr> </table> <p>貸付期間 平成5年度～平成12年度 償還期間 ① 経営活性化資金 15(特認20)年以内 うち据置3年以内 ② 後継者経営継承円滑化資金 25年以内 うち据置5年以内 末端貸付利率 ① 経営活性化資金 4.3(特認3.5)%以内 ② 後継者経営継承円滑化資金 融 資 3.5%以内</p>	経営種類	家畜の種類	一	般	特	認	酪	農	乳用成雌牛	15頭		25頭	肉	用	繁殖繁殖雌牛	5		10	肉	専	肉専肥育牛	10		20	乳	用	乳用肥育牛	15	
経営種類	家畜の種類	一	般	特	認																											
酪	農	乳用成雌牛	15頭		25頭																											
肉	用	繁殖繁殖雌牛	5		10																											
肉	専	肉専肥育牛	10		20																											
乳	用	乳用肥育牛	15		30																											



クスリの総合卸

株式会社 **エーシン**

取締役社長 山田 修造

勸業課 仙台市若林区卸町2丁目10-3

☎(022)284-8111 F A X (022)284-8127

古川市福浦字道の上137-1 ☎(0229)24-1211

畜産の健康と未来に貢献する

獣医薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本 社 岩手県花巻市卸町66番地
TEL 0198 (06)4151(代)

古川営業所 古川市清水字周防10-1
TEL 0229-26-4567

花巻営業所	水沢営業所	青森営業所
盛岡営業所	大館営業所	八戸営業所
大船渡営業所	横手営業所	山形営業所
酒田営業所	福島営業所	

項目	事業名	事業の目的	事業内容												
〔食肉関係〕 経営対策	養豚経営活性化資金特別融通助成事業	多額の負債を継承した後継者等負債の償還が困難な養豚経営について、財務管理指導の徹底と相まって、既貸付金の条件緩和等の措置とあわせて長期低利資金の融通を行うことにより、早期に経営の安定及び活性化を図る	貸付要件(個人の場合・頭数規模) <table border="1"> <tr> <td>経営種類</td> <td>家畜の種類</td> <td>一般</td> <td>特認</td> </tr> <tr> <td>繁殖経営</td> <td>繁殖雌豚</td> <td>30頭</td> <td>45頭</td> </tr> <tr> <td>肥育一貫</td> <td>肥育豚</td> <td>300</td> <td>450</td> </tr> </table> 貸付期間 平成5年度～平成12年度 ① 経営活性化資金 7(特認10)年以内 うち据置3年以内 ② 後継者経営継承円滑化資金 15年以内 うち据置5年以内 未端貸付利率 ① 経営活性化資金 3.8(特認3.5)%以内 ② 後継者経営継承円滑化資金 3.5%以内 融資機関 農協、農協連、知事指定銀行等	経営種類	家畜の種類	一般	特認	繁殖経営	繁殖雌豚	30頭	45頭	肥育一貫	肥育豚	300	450
	経営種類	家畜の種類	一般	特認											
繁殖経営	繁殖雌豚	30頭	45頭												
肥育一貫	肥育豚	300	450												
畜産環境整備リース事業	畜産環境整備リース協会が家畜ふん尿処理機械、悪臭防止機械装置、気密サイロ、飼料作物収穫調整機械などを購入し、畜産農家またはその団体に一定期間貸付けた後、譲渡することによって、家畜飼養環境の改善を図る。	畜産環境整備リース協会を、県内3つの借受け団体(生乳販連、経済連、飼料基金協会)を窓口として、再借受者である農協を通じて、機械導入を希望する農家に対して一定期間貸付けた後、譲渡する。 基本貸付料(元本) 購入価格から残存価格(10%)を差し引いた額を年賦で納入 付加貸付料 未払い基本貸付料に対し年5%(団体の共同利用の場合3.5%)を納入 譲渡代金 期間満了による最終貸付料納入3ヶ月後に残存価格(10%)を納入し、譲渡される													
〔酪農関係〕 経営・生産対策	酪農経営経産牛活用対策事業	酪農経営の安定と肉用資源の有効利用を図るため、陰用予定の経産牛肥育の実施による付加価値の向上、受精卵移植技術等の活用による双子生産あるいは交雑種生産等による肥育業牛生産を推進する。	1頭当たり単価 (1) 経産牛活用(肥育)試験経費助成 3万8千円 (2) 経産牛肥育奨励金 2万円 (3) 繁殖利用奨励金 ① 受精卵移植型 7 経産牛 4万3千円 1 乳産牛 6万円 ② 交雑種生産型 乳産牛 8千円												
	乳肉複合経営体質強化事業	酪農経営の体質強化及び牛肉資源の拡大を図るため、酪農家の有する哺育技術等を活用し、酪農家が個人又は集団で初生牛の哺育、育成又は肥育を行うなど多様な形態で乳肉複合化を推進する。	(1) 乳肉複合経営奨励事業 ① 高品質初生牛生産奨励金(おおむね1月以上の哺育) 7千円/頭 ② 乳用雄牛等育成奨励金(4ヶ月齢以上) 12千円/頭 ③ 乳用雄牛等肥育奨励金(12ヶ月齢以上) 16千円/頭 ④ 酪農家集団哺育育成奨励金(4ヶ月齢以上) 10千円/頭 ⑤ 酪農家集団哺育育成施設改修助成金 16千円/頭 (2) 共同哺育育成促進事業 ① 共同哺育奨励金(おおむね2ヶ月齢以上) 2千円/頭 ② 共同育成奨励金(4ヶ月以上) 4千円/頭												
	生乳需給改善基金造成事業	乳製品過剰在庫の問題等、早期に生乳需給の改善を図らなければならない状況の中で、平成6年度から5か年間に渡り、当面の課題である生乳の需給改善と併せて、高品質な生乳需要に適應した牛群の整備等の対策を実施するための経費について基金造成を行う事業	(1) 生乳生産削減特別推進事業 地域の生産基盤を維持するため、平均年齢が4歳齢以下でかつ5頭以上の搾乳牛について行う集中的なとう汰を実施した場合に奨励金を交付する なお、事業対象者の生乳生産枠は酪中央酪農会議が回収する。 1頭当たり単価 172千円または86千円 (2) 生乳供給調整緊急推進事業 4歳齢以下の搾乳牛のとう汰を実施した生産者に奨励金を交付する。 1頭当たり単価 30千円 (3) 生乳需要適応構造調整対策事業 ① 搾乳牛選抜奨励事業 高品質な生乳生産を図るため、乳質の優れた搾乳牛を選抜するための個乳質検査を行う事業に対し奨励金を交付する。 1頭当たり単価 400円以内 ② 搾乳牛再編整備奨励事業 ①の事業の検査結果等により乳質の劣ることが明らかになった搾乳牛を廃用にし、併せて乳用雌牛を導入した生産者に奨励金を交付する。 1頭当たり単価 1/2以内 (ただし上限は1頭当たり18,000円)												

STAR **スター農業機械**

マニュアルフレッタ

倍角ステアリングで
ラクラク作業



TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングボディ) (ディスクブレーキ)

スター農機株式会社 仙台営業所
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

ORION
ともに前進 技術のオリオン

酪農家の

声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。

東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691
宮城営業所 古川市新田字泉原敷59-4 ☎989-61 TEL(0229)26-4330

宮城県環境保全型畜産確立基本方針の制定について(その2)

宮城県畜産課

前回到引続き、基本方針を掲載します。

2 地方における指導体制

県調整会議の結果を踏まえた関係機関、団体等の指導については、各家畜保健衛生所管内の保健所、農政部の関係出先公所で構成する地方連絡調整会議が行うものとする。また、堆きゅう肥の農地還元等生産振興にかかる指導は、各家畜保健衛生所管内の農政部の関係出先公所等で構成している畜産振興協議会環境部会等に対応するものとする。

第3 指導内容

1 市町村が作成する地域環境保全型畜産推進計画の策定

市町村が円滑な畜産振興を推進するため、地域環境保全型畜産推進計画の策定に係る指導及び援助をするものとする。

特に、環境対策等の補助事業を計画している市町村においては、当該市町村の実情と将来を見通した計画が策定されるよう指導するものとする。

2 家畜ふん尿の適切な処理及び利用

(1) 家畜ふん尿処理技術の普及

悪臭発生、水質汚染、害虫発生の原因となる家畜ふん尿の野積みや素掘り処理等の不適切な処理を解消するため、家畜ふん尿処理技術の指導方針に基づき、各関係機関等と連携をとりながら市町村、農業協同組合、畜産農家等を指導することとする。

(2) 家畜ふん尿処理施設の整備推進

家畜ふん尿の不適切な処理の解消及び良質な堆きゅう肥の生産に資するため、家畜ふん尿処理施設(堆肥化施設、液肥化施設、汚水処理施設等)の整備を積極的に指導するものとする。また、家畜ふん尿処理施設の整備の推進にあつては、畜産農家等の経営内容によっては直ちに取にかかることが困難な場合があるので、暫定的な処理(家畜ふん尿へのビニール被覆等の処置による汚水等の流失対策の実施等)も併せて指導する。

(3) 家畜ふん尿の堆肥化及び農地還元

イ 家畜ふん尿は、有機質に富むことから、堆肥化し農地等へ還元すれば有効な土壌改良効果が期待できるので、農地還元を積極的に指導するものとする。

なお、堆肥化せず使用すると、農作物の生育障害等の悪影響を及ぼす恐れがあるので、家畜ふん尿処理技術の指導指針に基づき指導するものとする。

ロ 農地還元を円滑に行うため、畜産農家等と耕種農家との連携と広域的な堆肥流通のネットワークづくりを指導するものとする。

(4) 環境保全のための畜産経営の円滑な移転

環境汚染問題等を抱える畜産経営の円滑な移転を促進するため、必要な助言、指導等をするものとする。また、移転先において、新たな畜産経営に起因する環境汚染問題が発生すること



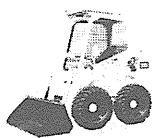
動物用医薬品

セレン配合
総合ミネラル固型塩

錠塩セレン

日本全薬工業株式会社

TCM東洋アタッチメント



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティー・シー・エム株式会社

983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1
電話 022-259-6351

のないよう、家畜ふん尿等の適切な処理、利用、移転先の住民等との合意形成についても指導に努めるものとする。

(5) 畜舎周辺の環境美化の推進

衛生害虫や悪臭が発生しないよう、畜舎及び付属施設の清掃に努め、常に衛生的に保つとともに、畜舎周囲に花や樹木を植える等畜舎周辺の環境美化についても指導に努めるものとする。

(6) 畜産経営に係る苦情処理

地域の畜産を円滑に推進していくためには、地域社会との融和が大切であるので畜産経営に係る苦情が発生した場合は、地方調整会議、市町村等と連携をとりながら前項(1)から(5)により当該農家を指導するものとする。

第4 その他

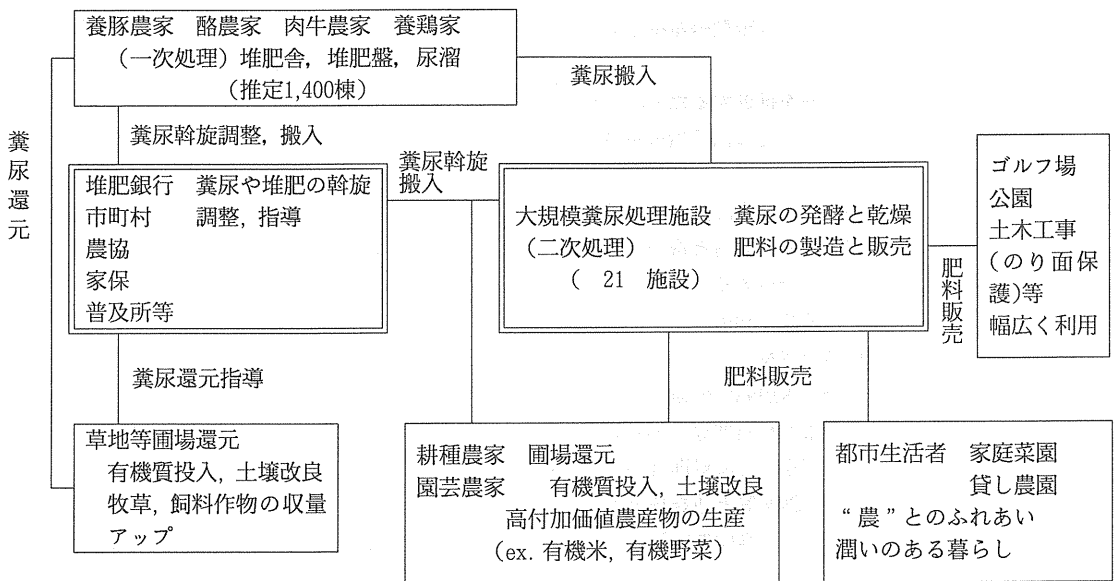
その他、県が環境保全型畜産確立対策を推進するにあたって、基本方針に定めがないものにあつては、宮城県畜産環境保全連絡調整会議のなかで協議する。

以上のとおり、宮城県の畜産が健全な発展を展開するためには、地域社会との融和、環境負荷を最小限に抑えること、そしてやっかいな家畜糞尿を逆手にとって有為な堆きゅう肥として活用することが大切です。図-2に示すように耕種農家との連携、堆肥センターの活用が考えられます。詳しいことは、農協、市町村、農業改良普及所、家畜保健衛生所へ御相談下さい。

(草地環境整備係)

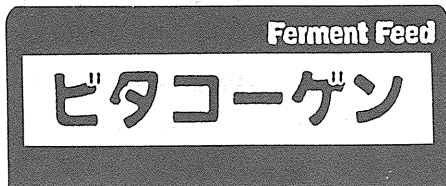
宮城県における家畜糞尿の処理体系フロー

○大規模糞尿処理施設を核とした家畜糞尿の広域的利用により畜産公害の防止と高付加価値農産物の生産を図る。



●特徴 飼料の食い込み、飼料の消化吸収 糞の正常化と悪臭防止など。

35年間の販売と実績を誇る安全：天然野性酵母



ご用命は 酪農組合、農業協同組合 又は畜連支所まで

製造元 清和酵源株式会社
発売元 株式会社 セイワ
[本社：三重県鈴鹿市]

第4回東日本和牛能力共進会の開催について

全国和牛登録協会宮城県支部

標記共進会は、北海道、東北6県及び栃木、茨城、群馬の東日本1道9県の和牛改良増殖を図り、経済能力の向上と齊一化を促進し、和牛改良組合の発展と和牛経営の定着を図ることを目的とし、5年に1度(全国和牛能力共進会の中間の年)ミニ全共として関係各道県持ち回りで開催しております。

今回は、第4回目となり平成7年9月2日(土)～4日(月)秋田県河辺町、秋田県中央家畜市場に於て開催されます。

開催テーマは「国際競争に打ち勝つため優良遺伝子を保留しよう」

和牛の遺伝子は、生産者の宝であり、改良のための優秀な遺伝子を自主規制により地域内及び国内に保留する事、国際競争、産地間競争で生き残るための最も重要な手段となります。

従って、今回の共進会から、出品条件の中に原則として「育種価」なるものを取り入れ、種畜能力と産肉能力の両面の改良成果が問われることとなります。

尚、出品区分、条件の詳細は次のとおりとなっております。奮って参加願います。その他詳しい事については畜連本所及び最寄りの支所にお問い合わせ下さい。

第4回東日本和牛能力共進会出品区分並びに出品条件詳細

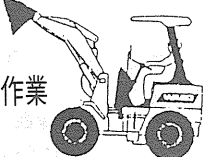
第1区～第6区の共通条件

- (1) 出品牛は登記牛又は登録牛で、且つ4代祖先すべて登録牛であるもの。
 - (2) " (ただし若牛の場合は両親)は原則として育種牛又は脂肪交雑及び皮下脂肪厚の育種価が各区の条件を満たすもの(但し育種価が判明していないものについてはこの限りではない。)
 - (3) 出品牛は申込み時及び出品中において、所定の発育基準に合致するもの。
 - (4) " すべて自県産で全和登録認定の改良組合内で生産したもの。
 - (5) " 血統を4代祖先調査した結果が遺伝的不良形質出現に関する育種牛の選定基準に抵触しないもの。
 - (6) " 他の区への重複出品はできない。
- 付則、1の(1)の「出品牛は……且つ、4代祖先すべて登録であるもの」については、4代祖先に蔓牛関係補助牛(2世代を補助牛とした場合は、この条件を満たしたものとす。)

区 分	生後月令(生年月日)	出 品 条 件
第1区(若雌の1)	14～17ヵ月未満 (H6.4.2～6.7.1)	(1) 出品は個人とする。
第2区(若雌の2)	17～20ヵ月未満 (H6.1.2～6.4.1)	(2) 出品者は申込時に繁殖雌牛(12ヵ月以上)4頭以上飼育していること。
第3区(若雌の3)	20～24ヵ月未満 (H5.9.2～6.1.1)	(3) 出品牛は同一人が出品まで続けて第一区では4ヵ月以上、第二区では7ヵ月以上、第三区では10ヵ月以上所有し、飼育したもの。
第4区(若雌の父系牛群)	20～24ヵ月未満 (H5.9.2～6.1.1)	(1) 出品は、改良組合及び全和支所が、その組合長及び支所長の名において行なう。 (2) この出品の単位となる改良組合及び本会支所の規模は、大体郡市単位とし、出品については予めその規模を記した調書を本会に提出し、本会と協議すること。 (3) 同一種雄牛の娘牛6頭以内をもって1群とし、出品はこの内4頭を持って1群とする。その出品牛の母牛は異なるものでなければならない。 (4) 出品牛は、(2)の地域内で生産、飼育され、同一人が出品まで続けて10ヵ月以上所有したもの。 (5) 出品牛4頭のうち同一人が出品できる範囲は2頭以内とする。
第5区(繁殖雌牛牛群)		(1) 出品は、本会支所を自営とし、その支所長の名において行なう。 (2) 出品の単位となる支所の規模は、大体郡単位ぐらとし、出品については予めその規模を記した調書を本会に提出し、本会と協議すること。 (3) 出品牛は、すべて当該支所において生産、飼育されたもの。 (4) 出品牛は、自身の繁殖成績が次の条件を満たすこと。 ① 生後28ヵ月以内に初産していること。 ② 申込時点において出品牛はすべて3産以上の経産牛で、そのときの過去における平均分娩間隔は420日以内であるもの。 (5) 出品申込時は6頭以内をもって1群とし、出品はこのうち4頭をもって1群とする。この4頭のうち同一人が出品しうる範囲は2頭以内とする。 (6) 出品の4頭の各々は、同一人が12ヵ月以上所有し、飼育したもの。 (7) 出品牛は、相互の血縁係数が3%以上のもの。
第6区(高等登録群)	16ヵ月以上 (H6.5.1以前)	(1) 出品は、全和登録認定の改良組合またはその部会が、組合長又は部会長の名において行なう。なお、出品牛の所有者は1頭づつ異なってもよい。 (2) 出品の単位となる改良組合または部会の規模は、大体町村単位ぐらとし、出品については予めその規模を記した調書を本会に提出し、本会と協議すること。 (3) 出品牛は、すべて当該改良組合内において生産されたもの。 (4) 高等登録牛1頭と、その娘牛2頭をもって1群とする。 (5) 出品牛は、同一人が申込時より出品まで続けて所有し、飼育したもの。 (6) 出品牛のうち母牛は28ヵ月以内に初産を分娩し、申込時点において、その過去における平均分娩時間は400日以内であるもの。また、娘牛の繁殖成績は母牛に準ずる。

KOMATSU

カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社
仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番代

動物用 (牛専用)
医薬品

トルラミックス

特殊酵母十必須ビタミン十ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷9番地の1
TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)

第7回東北地区牛削蹄競技大会の結果について

NOSA | 宮城

本年度で7回目を迎えた東北地区牛削蹄競技大会が東北地区の削蹄師の牛削蹄技術の向上と全国大会の予選を兼ねて8月19日、古川家畜市場で開催された。

同大会は、本県装削蹄師会(鈴木定吾会長)が主催したもので、東北各県から選ばれた17名の出場選手をはじめとし、各県の削蹄師会の会員ら約200名が参加して行われた。

競技は筆答試問、牛削蹄判断競技に引き続き実技試験が行なわれ、出場者は前足と後足を1本ずつ割あてられ、1時間の制限時間内に「ひずめ」をかまで削り取り、ヤスリで形を整える「削蹄」に挑んだ。

当日は30℃は超える猛暑の中での実施となったが、出場者は汗だくになりながらも真剣に取り組んでいた。

なお、成績は下記のとおりですが、出場選手のうち各県の上位1名については10月に東京で開催の全国大会に出場予定。

第7回東北地区牛削蹄競技会の結果

- (優勝) 小角 慶三(山形)
- (準優勝) 及川 満(岩手)
- (優秀賞) 細野 勉(岩手) 山崎 芳男(宮城)
- 岡崎 信義(山形) 佐藤弥一郎(福島)
- (優良賞) 栗田 利一(山形) 川守田 亨(青森)
- 水田 優(福島) 福田 泰司(宮城)
- 藤元 松朗(秋田) 鈴木 典之(宮城)
- 高橋 鉄造(青森) 佐藤 安典(秋田)
- 阿部 光雄(岩手) 高橋 辰巳(秋田)
- 白岩 義一(福島)

宮城県畜産会々長 茂木要治氏急逝

本会会長茂木要治氏におかれましては、去る10月4日午前9時38分クモ膜下出血により矢本町仙石病院で急逝されました。

氏は、宮城県経済農業協同組合連合会代表理事専務として、本会および畜産関係団体の会長、副会長、理事等数多くの要職に就かれ、特に畜産には造詣が深く、本県畜産の振興と発展のため日夜心血を注がれ、その功績は多大で惜しんでも惜しまれません。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

実践大学生及びOBの抱負

「充実した日常生活」

大和町出身 及川 勝利

(平成4年3月卒業)



私は現在、就農し実践大で学んだ技術・知識を少しずつではあるが、我が家の酪農経営にとりいれている。

私の住んでいる大和町は緑が多く、まさしく自然の宝庫といえる。農業には適している場所であるが、

ほとんどの農家は水田と会社勤務といった具合。私のように水田と酪農といった専業農家は減少している。私自身は、自分なりに楽しく仕事をしているので問題は無い。しかし、若者達の都会への流出と残された高齢者の現実。いつしかこの地域でも20代は、私だけになってしまった。でも私には、宮城県内の仲間がいる。それは、県農村青少年クラブ連絡協議会(4Hクラブ)である。これからの農業を担う若者が各種イベントや研修会などを通じ交流する場であるが、私はここで副会長を努める傍ら、地区事務局長、その他副会長などの活動を通じ、多くの友がいるのだ。現在会員数は625人であり、うち女性は63名である。この会に入会して、多くの仲間との交流、情報交換ができたことは良い点である。が、会運営の立場からは人集め、時間厳守ができないことなど頭が痛い課題も多い。

若者誰もが気軽に参加でき、明るく楽しい会です。少しでも興味のある方、一緒に活動しませんか!

さいごに、4Hクラブを通じてこの頃こんな事を考えている。私たちが生きていくためには、食料はかせない。しかし、我が国のカロリーベースでみた食料自給率は47%に低下(H5年)し、先進国のうちで異例と言える低い水準である。自給率低下傾向に歯止めをかけなければならない。また、今年度宮城県の新規就農者は40名、うちUターン者9名であり農業に関心を、魅力を感じている人が増えてきていることには嬉しく思う。

私たち後継者がこれからの日本の農業を支えていくのである。

飼料は まるきた印

- 採卵鶏用配合飼料
- ブロイラー配合飼料
- 肉牛用配合飼料
- 乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号

TEL石巻 0225 (22) 6111
FAX石巻 0225 (22) 6116



飼い上手 育て上手は……
みのに……で

動物薬品・獣医器具総代理店

株式会社 美濃谷

- 本店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL883121
- 山形店 仙台市太白区羽黒台31-14 TEL2654306
- 仙台店 仙台市太白区羽黒台31-14 TEL2654306
- 鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL240963

<畜試便り>

優良種豚選抜試験に着手

1. はじめに

畜産試験場では本年度から「優良種豚選抜推進事業」に着手し、本県の風土に合った高能力のデュロック種(以下Dと称す)の選抜を平成14年度まで実施することにしました。これは現在利用が進められている系統豚ミヤギノの効率的利用と併せ、Dの利用により、本県独自の高品質銘柄豚肉生産を確立し、消費者ニーズに対応させていきたいと考えています。以下、選抜試験の概要を紹介します。

2. 改良目標

改良目標としては、

- ①発育が良く、赤肉生産効率が高い
- ②肉質(美味しい肉質-柔らかさと筋肉内脂肪)に優れる
- ③強健である
- ④繁殖能力が優れている
- ⑤ミヤギノクロスとの交配成績が高い

ものとしています。

3. 種豚の導入

選抜にあたり、その素材豚の選定、導入が何より重要となります。素材豚の選定は、母豚の産肉能力と繁殖能力を重視して行ないました。導入した素材豚は表1に示したとおりです。なお、素材豚のほかに米国のSGI社(種畜会社)から精液を輸入するとともに静岡県並びに民間種豚場の精液を利用し、交配はすべて人工授精技術を活用する予定です。頭数に対する雄の頭数はかなり大きく集団の遺伝的な変異はかなり大きくなりますが、組み合わせを考え、それぞれの遺伝的能力が充分交じり合うような交配を実施する予定です。

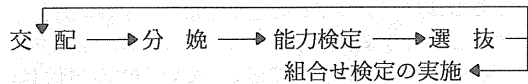
4. 選抜の基本計画

選抜の基本計画を表2に示しました。交配分娩、能力検定、選抜を1年周期で産肉能力及び繁殖能力の改良を行い、能力の高位平準化を図ります。また、選抜種雄豚をミヤギノクロス(LW)に交配し、生産した三元交雑肉豚の産肉能力を検定することにより、ミヤギノクロスとの組み合わせが最適な種豚を選抜することとしています。

表1 素材豚の内訳

導 入 先	頭 数		備 考
	雄	雌	
サクラ201系			
県内		14	
山形県		4	
非系統豚			
県内		3	
静岡県	1	15	
住商		10	
雪国牧場	1	5	新 潟
計	2	51	

表2 選抜の基本計画



5. 選抜方法

今回の選抜試験においてはブラップ法アニマルモデルと呼ばれる方法により選抜を実施する予定です。この方法は、選抜候補個体自身の記録だけでなく血縁個体の記録も利用してその個体の正確度が高くなる長所があり、より大きな改良効果が期待されます。

また、肉質については、柔らかさ、肉色、筋肉内脂肪、脂肪蓄積度合い、保水性等を種々の機器を用いて調査し、選抜に当たることとしています。繁殖能力、肢蹄の強健性については独立淘汰で改良を図ります。

6. おわりに

本県の養豚を取り巻く情勢は農家の高齢化、豚価の低迷や経営環境問題などから経営を中止する農家が年々増えるなど厳しさをますます一方です。Dが文字通り本県養豚の「切り札」となり、激烈な産地間競争に打ち勝つ「力づよい宮城の養豚」をしっかりと支えることができるよう、一生懸命選抜に当たって参りたいと考えています。

(種豚家きん部、鹿野裕志)

ビフィズス菌は
 ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
 活きたまま腸までとどきます。


ビヒダス®
プロレン
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目1番3号
 ☎ (022) 384-5181

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会
 仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688



<衛生便り>

家畜と抗生物質

仙台家畜保健衛生所

家畜の病気の予防や治療、生産性の向上のためといった理由でいろいろな種類の抗生物質や合成抗菌剤が使われています。それは、獣医師が注射などの方法で投与する他、飼料に最初から添加されているものもあります。家畜から生産される食品としての畜産物は、全て私たちの口に入るので問題が起きないように、その使用方法などは法律などで細かく決められています。それは主に、肉などに残留することがないように使用量や使っていい家畜、使用方法、休薬期間を定めています。これを、守らないで使うと、生産された畜産物に残留して人の健康に影響を与えたり、抗生物質などが効かない耐性菌を作り出す危険性があります。

残留はわずかな量でも、知らずに取り続けるうちに、私たちの体にアレルギーを起こしたり、耐性菌を作り出すことがあります。しかもこういう事は、私たちが気づかないうちに体の中で起こっているのです。例えば、ペニシリンアレルギーと気づかずにペニシリンを使い、症状が出てから初めてわかるという事がおきます。

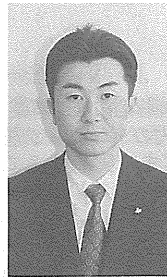
耐性菌は、これらの菌による人や家畜の病気の治療を難しくします。特に多くの薬に耐性をもつ菌が現れると、今まで簡単に治せた病気が治せなくなります。耐性菌は、人でも家畜でもいろいろな抗生物質について確認されています。

抗生物質などを正しく使って残留のない安全な畜産物を生産することは、単に消費者が求めているというだけでなく社会全体に影響することです。それを自覚して、これらが添加された飼料を含め使う時は、表示された方法や注意事項を守り、特に、保管する場合は区別して、誤って使用しないよう、また、獣医師の指示どおり使うことが大切です。

(仙台家畜保健衛生所病性鑑定課 松田悦子)

<抱負>

採用から半年過ぎて思うこと



迫家畜保健衛生所

技師 柴田 知也

4月に勤め始めて、早や6ヵ月が過ぎようとしています。職場にはすっかり慣れましたが、仕事ではまだまだ半人前にも満たない状態で、先輩に頼りっぱなしです。

大学時代は、朝は好きな時間まで寝て、夜は遅くまで遊びまわってと、あまり真面目ではなく、不規則な生活を過ごしていただけに、勤める前は規則的な生活サイクルについていけるかどうか、とても不安でした。それでも、いざそういう場に入ってしまうと同調できるもので、最近ではすっかり社会人らしくなったと自分ながらに感じています。

仕事の方は、改良増殖、畜産振興等を担当していますが、範囲が広すぎて今だに全体像がはつきりつかめず、友人に「家畜保健所って何やってんだ？」などと聞かれても、うまく回答できなくて困っています。

先日行われた登米本吉地域の共進会も実は私が担当で、先輩には「俺は手伝われないから全部一人でやってみろ」とプレッシャーをかけられ、「げげっ!!」と思っていましたが、実際のところは、課長や先輩がかなり段取りをくんだり手伝わっていただけだったので、試行錯誤しながらも、無事に大きな問題もなく終えることができました。これで「ホッ」とするとともに、今後も何とかうまくやっていけそうな自信がわいてきています。

これからも、毎日勉強していくことが山ほどありますが、宮城県の畜産の発展に少しでも力になれるよう、若さを活かして頑張っていきます。

動物用薬品器材のことなら

タックにご用命下さい。

株式会社 タ ッ ク

- 本社 〒980 仙台市青葉区上杉三丁目3番8号
電話 022-225-7338(代)
- 仙台(営)
- 古川(営) 〒987 遠田郡小牛田町関根字館野28番
電話 0229-34-2018(代)
- 福島(営) 〒960 福島市矢剣町22番5号
電話 0245-36-2815(代)
- 須賀川(営) 〒962 須賀川市卸町3番
電話 0248-76-5177(代)

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルビックス

牛用混合飼料



アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料

農協 | 全農 | 経済連